

〈目指すべき姿（目標・成果）〉

- 地域資源の活用、戦略的な情報発信による交流人口の拡大
【目標：管内への観光客入込数 1,095万人（現状 H26：1,011万人）】
- 地域を支える人材・組織の育成による地域活力の向上
【目標：普及啓発活動を通し、人材・組織の育成に向けた取組を一層推進する。】

〈管内の現状〉

- 観光客の回復に向けて様々な取組がなされているが、風評などにより、震災前の状況まで回復していない。
・観光客入込の状況 92.5% (H22/H26)
- ふくしま復興再生道路や東北中央自動車道など、社会基盤の整備が進展している。
- 豊富な地域資源を有するが、十分な活用が図られていない。
- 少子高齢化等により人口減少が進行し、地域を支える人材・組織が不足している。
・人口減少率 4.1% (H22/H26)

〈管内の課題〉

- 交流の促進**
 - ◆ 地域資源や社会基盤の活用
 - ◆ 戦略的な情報発信
 - ・ 地域の魅力を効果的に伝える。
 - ・ 安全、安心に係る正確な情報発信により風評の払拭を図る。
- 人材・組織の育成**
 - ◆ 地域の活性化を担うことができる人材・組織の育成
 - ◆ 地域外からの人材の定着化

〈H27事業の計画〉

①地域経営分

温泉を活用した県北地域活性化事業（事業費24,855千円）

- 【目的】 県北地方を代表する地域資源の一つである「温泉」の特長を活かした取組を推進し、それぞれの温泉街が持つ魅力を高めることなどにより、風評払拭と誘客促進につなげる。
- 【事業概要】
 - (1) 地域資源活用による温泉街魅力アップ事業
 - ・ 下記の特長的な取組に参加した宿泊者に対し、地域商品券贈呈等の特典を付与する。
(福が満開、福のしま。旅行券を利用しない場合は、宿泊費の一部を助成。)
 - ・ 宿泊者へのアンケート調査を実施し、持続可能な誘客のための課題を探る。
【飯坂】サッカー観戦・合宿、【土湯】再生可能エネルギー施設見学、【高湯】3泊以上の長期滞在(湯治)、【岳】ウォーキング等のスポーツ教室参加
 - (2) けんぼく観光魅力アップ推進事業
 - ・ 地域産品を活かした誘客促進事業（管内温泉施設の宿泊者に地域産品贈呈）
 - ・ 魅力アップ講師派遣事業（観光協会や団体が取り組む魅力向上の活動に専門家を派遣）
 - (3) 隣接県等観光交流推進事業
 - ・ 宮城・山形等の隣接県で開催されるイベント等で、県北地方観光地の情報を発信。
- 【ねらい】 地域の魅力を高め、県内外からの来訪者を増やし、また、リピーターを獲得することで、多くの方に地域の現状を正しく知ってもらうとともに魅力を感じてもらおう。
- 【効果】 ①地域資源の磨き上げとPRによる風評払拭 ②プラスイメージの普及による交流人口の拡大

交流

人材
組織



②過疎・中山間連携事業

- ふるさとの魅力を次の世代に！
「あぶくま地元学」事業
- ・ 住民自らの調査による地域の魅力の再発見及びその成果の活用



交流

人材
組織

③一般枠（民間等）

若旦那プロジェクト

- ・ 県北地域の四温泉地の旅館の若旦那が連携して地域の魅力をPR

第1回若旦那サミット



交流

④市町村枠

村ホームページを活用した伝統芸能継承・村観光資源PR事業

- ・ 江戸時代から伝わる「神原田神社十二神楽」の子どもたちへの伝承及び全国への情報発信



交流

人材
組織